



会派代表質問

## 持続的な発展と魅力ある都市づくりの実現に向けて!!

創政

小金井勉議員



問 国道128号沿線の地区計画について伺います。

答 本市は平成28年1月から、市街化調整区域における土地利用方針及び地区計画運用基準の運用を開始しました。国道128号沿線の賑わいと雇用促進、税収増などを期待した施策であり、農振農用地との調整ができていなかったため、事業者が撤退したと聞いていますが、この制度の運用が少し厳しいようにも思えます。制度の運用の見直し等を考えてみてはどうですか。お伺いします。

答 国道128号線沿道の地区計画の提案要件につきまして、規模については、都市計画法の「一体」として整備し開発または保全すべき土地の区域として、0.5ヘクタール以上の1団の土地」をもとに、都市計画

を提案できる規模について定めております。また、国道からの範囲については、先進自治体の事例や本市の国道128号線沿道の既存の地区計画の範囲をもとに、国道128号より概ね100メートル以内としているものです。基準の見直しにつきましては、今後の本制度を活用した地区計画の提案の相談状況を踏まえながら、提案要件の見直しについて見極めてまいりたいと考えております。

問 小中池公園の整備についてお伺いします。小中池公園の再整備の検討結果はどのようになつたかお伺いします。また、今年度の小中池公園整備費の予算計上は幾らで、どこを整備するのかお伺いします。

答 今議会において、小中池公園再整備構想検討委員会条例の制定についての議案を提出させていただいた

とあります。条例可決後は速やかに当委員会を開催し、再整備の方向性を検討してまいりたいと考えております。また、今年度の予算は750万円ですが、この予算はローラー滑り台の計画的な改修を行うための費用で、今年度は5カ年計画の2年目の改修です。

問 山辺土地改良事業についてお伺いします。現在の進捗状況及び今後のスケジュールはどのようになっているかお伺いします。

答 山辺地区ほ場整備事業推進協議会が、本年6月に設立されました。推進協議会におきましては、計画概要等を各区分ごとに説明会を開催し意見集約を進めております。営農推進部会におきましては、営農計画策定に向けた協議を進めております。今後のスケジュールといたしましては平成32年度の事業採択を目標に、採択申請に必要な営農計画、促進計画の作成を進めてまいります。

## 関連質問

田辺正弘議員



問 東金線ホームの延長について。

答 始発を含めた朝の時間帯に、座って通勤できる始発駅として見直す必要があると思います。それには、東金線ホームを10両編成(京葉線)の車両が止まれるホームの延長が必要です。始発ができることにより、大網白里市の相乗効果、すなわち人口増加また経済効果は、はかり知れないものがあると思います。

答 以前から大網駅始発の運行を目指し、三市一町で構成するJR東金線複線化促進協議会を通じて、JR東日本に要望を行っています。しかしながら、JR東日本によれば、ホームの延長には土木工事に加えて信号工事や維持管理費等に莫大な経費を要するため、現在の利用者数等では困難であるとのことでございます。引き続き、利用者の利便性向上のため、この協議会への要望とします。

## 関連質問

北田宏彦議員



問 2月定例会で「地区計画の区域を定め商業業務施設などを中心とした土地利用を図る事を目的とし区域を設定した。ところが、農振農用地との整合が図られていないため、立地できない矛盾が生じている。」と質問に対し「市長自ら千葉県知事をお願いをした。」と答弁を頂いたが、その後の進捗について伺いたい。

答 機会あるごとに市長から要望をしたい。

問 本年、土地利用に関連する法令が幾つも改正されているが、これらを活用し懸案を解決できないか。

答 他の法令や制度に基づき、土地利用ができる方策の研究に努める。住民の意向や地域の実情を土地利用に反映することが重要であり、そのためには、土地利用の現場である自治体において一元的な土地利用行政を実現することが求められる。

## 関連質問

森建二議員



問 地域住民にとって待望の事業。地元で行われたアンケートでも、子育て支援施設、産院、商業施設は特に望まれる。事業の進捗は。

答 公民連携(PPP)手法で実施の為、公募を開始した。審査を行い、選定を進める。産院誘致も鋭意努力する。万一選考が不調の場合は事業が成立せず、実施手法を検討する。

問 今事業は住民目線で初めて行政が大きく動く。市長の考えを。

答 当地には、物流施設誘致の話があったが、住民の同意が得られず立ち消え、地元の要望を伺い活用を検討してきました。昨年、国の地方創生交付金、推進交付金の採択を得、公民連携手法で子育て支援施設や産院、商業施設等を誘致し、当地区を出産・子育ての拠点として整備し、子育て世代を呼び込みたく考え、鋭意取り組みます。

会派代表質問

## 本市をもっと活性化し、さらに市民の健康寿命も真剣に考えるべきだ!

新政ネット

石渡登志男 議員



問 7月2日のとうもろこし祭りだが、当日購入出来なかった方々が沢山おられた事を先ずはお詫びしたい。怒られるのを覚悟でお伝えすれば、まさかあんなに沢山の皆さんが来場していただけたとは夢にも思っていなかった。他自治体や民間のとうもろこし祭りのイベント人数もおさえていた。白子町のタマネギ狩りと最初はずか60組。現在は7千組を超えているのではないかと。私が1

期目のとき、農業振興の為にとうもろこし祭りを提案したが、市は葉たまねぎやニンニクをブランド化する為に助成金を交付していると言っていた。でも数年経過しているが、ブランド化などなされていない。とうもろこし祭りを提案し数年待ったが、これといって市側に動きが見られなかった。そこで、農家、市民の声を聞きながら私と堀本議員は開催に踏み切った。農家も3千本収穫してく

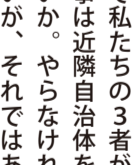
れたのだが、当日開始時間前から人々が集まりだし、わずかの時間で完売となってしまった。例年なら何とか行き渡ったのだが、今年は天候不順が災いした。3千人以上の方々がいらして下さったが、私たちのイベントの限界を超えてしまった。と

うもろこしを購入出来なかった皆様、本当にごめんなさい。農家も市民も私たちが何とか大網白里市を元気にしたい!その気持ちで行った。縁日も大変な列になったが、子ども達は楽しんでくれた。ヨーヨーのプールにそのまま身体を突っ込んでしまった子どももいたが、その時みんな笑顔だった。でも次回開催は難しい。購入出来なかった方より厳しいメールもいただいたが、この方の言われるとおりで、反論など一切できない。これは初めてで、最高に美味しかったです。なぜかわくわくするようなイベント、大網白里市に住んで初めての気がします。白子のタマネギに負けないぐらい大網白里市のブランドにすべきです。こんなメールもいただいた。こういったイベントは市やJA等がやるケースが圧倒的。市民や農家、そして私たちの3者が一体となり行った事は近隣自治体を含め初めてではないか。やらなければご批判も受けませんが、それではあまりに寂しい。市民手作り初回イベントでも3千人以上の方々が来られるだけのポテンシャルが本市にはあるのだ。県内他、他県からも来られ

早期に実現されるよう要請いたします。問 開口部の設計がどのような問題点があつて決めかねているのか。答 開閉する方式には、スライド形式、片開き式、浮遊式等比較検討している段階と聞いています。市としても、管理面、安全性を含め協議させていただきたいと思っております。問 四木C地区の築山建設計画の進捗状況は、現在どのようになっているのか。答 候補地を選定し、現在測量及び土地評価の手続きを進めている段階です。今後、実施設計を行うとともに、用地取得に向けて地権者と協議

## 関連質問

堀本孝雄議員



問 波乗り道路のかさ上げ工事の進捗状況について、お伺いいたします。

答 当初は工事完成予定が7月末予定でありましたが、延期され12月末には完成とのことでした。

問 波乗り道路の開口部(アンダーパス)の対策は、どのようになっていますか。

答 県では、扉設置に伴う進捗状況については、構造や形式などの設計を進めている段階です。今後設計の進捗に合わせて、市とも協議を行います。

ていた。最後にスタッフの方、駐車場を無料で貸して下さった地元の方、あの暑い中汗だくになりとうもろこしを収穫して下さった農家の方、ライブ・音響の方、そして出店して下さった方、「どうだい、大丈夫かい」と心配し声を掛けて下さった市民や区長の皆様方、心より感謝したい。いろいろと不手際があつたが、来場したくださった市民の方々にも感謝したい。購入できなかった皆様方や大渋滞により市民の方や公共バスに

おいても迷惑をお掛けした事を心からお詫びしたい。来年度、市によるとうもろこし祭り開催のご検討を是非お願いしたい!

問 想いはただ一つ、「大網白里市民が災害で命を失う事なく、誰もが生きがいを持ち、健康で長生きできる、そんな市政を!」そのために活動量計がある。病氣も予防出来る。モニターという形でもよいので、貸し出しを行って行ってみたらどうか。答 ポイント手帳に活動量計で解明された内容を掲載しております。

問 ポイント手帳は説明だけ、「書きましたよ」というだけではいけない。本市は、冷たいですね。引き続き検討を。これ以外に、防災対策も質問したい。

問 他地区の築山についてはどのように考えておられますか。今、本市は大網駅前整備、スマーティンターの設置、金谷川の改修等多大な費用を要する事業が進んでいるわけですが、白里地区においては津波避難施設整備計画におけるこのような整備は何にもまして重要なものであると思えます。もう少しスピード感を持って進めて頂きたい。

答 まず四木地区の整備を先にと考えています。北避難路のA地区、中避難路のB地区の築山整備については、四木地区が終了次第と考慮しております。